



サンゴを熱心に観察する参加者—下田市外ヶ岡の道の駅・開国下田みなと

サンゴ、海の仕組み学ぶ

伊豆海洋自然塾と筑波大が講座

下田

親子ら20人が実験、観察

伊豆海洋自然塾と筑波大は19日、出張ジュニア講座を開いた。自然塾ジュニア養成講座の参加児童と保護者ら20人がサンゴと海の仕組みについて実験や観察を交えて学んだ。

下田市五丁目の同大下田臨海実験センターの和田茂樹助教とアゴステイニー・シルバン助教が講師を務めた。

和田助教は「温かい水と冷たい水がどう混ざるかなどの実験を通して海の仕組みを話した。シルバ

ン助教は参加者に生きているサンゴを顕微鏡などで観察してもらい、生態や仕組みについて説明した。

講座は同大社会貢献プロジェクトの助成を受ける。活動推進協議会（海担当・伊豆海洋自然塾）が同大と共催して開いている。